



ポポンデッタ小学校

今回は、私が赴任しているポポンデッタ小学校について書きたいと思います。ポポンデッタ小学校はパプアニューギニア首都ポートモレスビーから、飛行機で30分弱乗ったところにあるオロ州のポポンデッタ市内にあります。ポポンデッタはとても小さな町ですが、公立の小学校が3つあり、その中で一番大きい学校がポポンデッタ小学校になります。同じ敷地には、Elementary Schoolである小学校以下のグレードの校舎、Primary Schoolであるグレード1～6まで通う校舎、Junior High Schoolであるグレード7～8が通う校舎があります。私が働いている小中学校は、1クラスなんと約60名の児童生徒がいて、各学年4クラスあります。しかし、教員不足・教室不足の関係で4クラスのところを3クラスに編成したり、1人の先生が2つのクラスを管轄したり、屋根を立てただけの床が土の仮の教室で勉強していたりします。日本では、教室に先生がいるのは当たり前。30人弱で勉強しているのが当たり前。教室があるのが当たり前。そんな“当たり前”が「ない」環境で彼らは勉強をしています。皆さんは学校で授業を受けるとき、何を使いますか。1人1冊の教科書やノートがあると思います。しかし、PNGを始めとする開発途上国では、すべての学年・教科に教科書を用意されていなく、教科書があったとしても1冊を複数人で共有し学校で保管するという形をとっています。幸いにもPNGは、グレード3～6までの理数教科書を日本政府・JICAなどとPNG政府の協力の下で作成されており、活用されています。また、1～4年生の英語においては、「Bilum Book」という英語の教科書がオーストラリア政府協力の下で作成され活用されています。一方でそれ以外の教科や特に高学年においては、シラバス(教えてほしい内容を簡単に示したもの)のみ存在し、教材や教え方は各教師に任せる形をとっています。したがって、教わることがない教科があったり、偏った教え方になってしまっている教科があったりします。また、教科書があったとしても、日本の教え方を採用した理数教科の教科書の使い方が分からない教員もいました。さらに、先ほども言及したように、教室不足はもちろん特別教室は一切ありません。理科室はないので、実験もない。図書室もないので本もない。美術室もないので美術の授業も十分にできていません。このような日本にはあった“当たり前”が「ない」環境で、自分には何ができるか考えながら活動しています。これが彼らにとって当たり前だけれど、それを少しでも良くなるように、そしてそれが当たり前になるように日々奮闘しています。さて、詳しい活動内容は次回記載し、今回は写真と共に概要をお伝えしようと思います。

【Popondetta Primary School の概要】

名称 : Popondetta Primary School

在籍学年 : グレード1～8 ※来年度からグレード9追加

児童生徒数 : 1300名以上 **クラス数** : 32クラス (担任不在・教室不足で実際は28)

教員数 : 32名 (教諭・事務員・Head teacher・Principal)

教材 : 理科と算数(グレード1～6)の教科書、Bilum Book 英語の教科書(グレード1～4)

授業時間 : 8:00～15:00 (12:00～13:00はランチタイム) 小学校30分ずつ/中学校40分ずつ

制服 : 黄色のシャツ&緑のズボン or スカート



朝登校すると、清掃が始まります。落ち葉や落ちていたゴミをゴミ箱の中へ。溜まったら、Dump というゴミ捨て場に持っていきます。溜まったらここで燃やします。プラゴミも紙も空き缶も、瓶も生ごみも何もかも。



朝8時から朝の会があります。「Under the mango tree!」というアナウンスと共に、グレード1～6（小学校）、7と8（中学校）で分かれて、行きます。日差しが強いので、マンゴーの木下で。これが週2～3あり、それ以外の日は、教室で行われます。



国歌を歌ってから、校長や他の先生が話をすることが多いです。8時から行われるはずですが、定時に行われることはほぼありません。(笑)ただ、教員は「早く集まれ!」と叱る場面もちまほらあります。時間にルーズなPNG人ですが、学校では時間を守ろうと教育を心がけているそうです。



教室は、学年によって環境が様々。1年生(左)は、床が土で屋根と壁が設置されただけの即席教室。2,3年生は屋根が錆びていて、壊れかけの古い教室。(右)



校門です。これが学校のロゴになります。



5,6年生は塗装されているきれいな教室や高床式になっている教室。



これが一番新しい建物。図書館のはずだけれども、教室不足から下の階は教室になっています。このタイプの建物だと2つの部屋がある。7年生と4年生が使用しています。今後は、PC室や理科室になる予定。



この建物の真ん中が校長室。校長室の前の部屋(事務室)を待機場所として使わせていただいています。そこに、学校唯一のパソコンがあります。事務員に印刷や資料作成を頼みにぞろぞろ職員が来ます。両側は、4年生の教室。



@bridge_png_jpn(Instagramのアカウント)もよろしくお願ひします。



https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/1554359_14098.html (PNG海外協力隊だより 鈴木 佑(青少年活動) | 海外での取り組み JICA)



@jica_kyoryokutai(JICA公式アカウント)のインスタグランプリに応募しています。ぜひ、ご覧ください。(他の国の活動も見れます)